

NISEの情報収集・発信

WEBサイト、展示会等を通じた情報発信

NISEでは、特別支援教育全般に関する情報をはじめ、インクルーシブ教育システム構築に関する情報、発達障害に関する情報、教材や支援機器の実践事例等、様々なニーズに応じた形でWEBサイトを用意しており、特別支援教育の関係者はもちろん、一般の方を対象とした情報提供を行っています。

■ 特別支援教育教材ポータルサイト（支援教材ポータル）

平成25年8月、文部科学省が設置した「障害のある児童生徒の教材の充実に係る検討会」による報告において、国等の役割として、「障害の状態や特性に応じた教材や支援機器、指導方法、活用事例等に関する全国レベルで情報交換するためのデータベースの作成」が示されました。

これを受けて、NISEでは、教材・支援機器の活用に関する実践事例や関連情報を広く提供するために、「特別支援教育教材ポータルサイト」を、平成27年3月から運用しています。

◆ 支援教材ポータルのコンテンツ



【教材・支援機器検索】

【実践事例検索】

「教材・支援機器」と「実践事例」が相互に参照できるようにになっています。

【教材・支援機器に関する情報】

【研修・展示会情報】

詳しくはこちら→

特別支援教育教材ポータルサイト

<http://kyozai.nise.go.jp/>

■ 特別支援教育教材・支援機器等展示会

NISEでは、支援機器等教材に関する研修会・展示会を研究所セミナー及び全国特別支援教育センター協議会において開催するとともに、教育委員会や教育センター等の協力を得て、地域における研修会・展示会を開催しています。

◆ 令和元年度地域における研修会・展示会開催予定および協力機関

山形県教育センター（協力：山形県教育庁特別支援教育課）

山梨県総合教育センター（協力：山梨県総合教育センター）

静岡県総合教育センター（協力：静岡県教育委員会）

愛媛県生涯学習センター（協力：愛媛県総合教育センター）



詳しくはこちら→

支援教材ポータル > 研修会・展示会の様子

http://kyozai.nise.go.jp/?page_id=47

■ 発達障害教育推進センター WEBサイト

発達障害教育推進センターは、全ての国民が発達障害を理解し、共に手を携える共生社会を目指した理解啓発を目的として、発達障害に関する様々な情報を調査・収集・整理し、それらを基に、WEBサイト等を通じて広く情報普及活動に取り組んでいます。また、全国の教育関係機関や厚生労働省所管の国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センター等と連携した取組も進めています。

本センターのWEBサイトは、以下の項目で情報提供を行っています。それぞれの情報については、定期的に追加・更新を行い、新しい情報を発信しています。

◆ WEBサイトを通じて提供している情報の主な内容

＜発達障害のある子どもについて＞

- ・ 基本的な理解、対応や支援
- ・ 講義コンテンツ（※）
- ・ 教材・教具や支援機器
- ・ 研究の紹介
- ・ 施策や法令に関する情報

※コンテンツの一部は、YouTubeでも公開しています。

<https://www.youtube.com/user/NISEchannel>



詳しくはこちら→

発達障害教育推進センター WEBサイト

http://icedd_new.nise.go.jp/

■ 発達障害に関する地域での理解啓発事業

保護者と関係機関（教育、福祉等）が連携した、切れ目のない地域支援体制の構築を推進することを目的として、各地域のニーズに応じ、心理的疑似体験や展示等、地域住民の発達障害に関する理解を深める活動を、各自治体と協働で実施しています。

発達障害教育推進センター展示室

発達障害教育推進センター展示室では、発達障害に関する基本的な理解、対応や支援に関するパネル展示や参考図書の紹介、教材・教具や支援機器等を展示しています。

心理的疑似体験ができるコーナーもあります。



教育支援機器等展示室【iライブラリー】

iライブラリーは、障害のある子ども一人一人の教育的ニーズに応じた支援を実現する様々な教育支援機器やソフトウェアの展示室です。

iライブラリーでは、NISEが開発した教育支援機器やソフトウェアを展示するとともに、市販品についても障害種ごとに紹介しています。



詳しくはこちら→

iライブラリー WEBサイト

<http://forum.nise.go.jp/ilibrary>

図書室

NISEの図書室では、特別支援教育に関する国内外の図書等を収集・整理・保存し、閲覧、文献複写等のサービスを行っています。

特別支援教育の専門書を中心とする図書約72,000冊、学術雑誌等の逐次刊行物2,123種類のほか、全国の特別支援教育関係機関が発行する研究・実践報告書など約26,500種類の資料を所蔵し、これらの蔵書目録をインターネット上で公開しています。

NISEの図書室はどなたでも利用できます。来室される前に、電子メール又はFAXにて事前連絡をお願いします。

E-mail a-tosho@nise.go.jp

FAX 046-839-6939



特色ある所蔵資料

名称	内容
研修成果報告書	NISEが実施する特別支援教育専門研修の受講者が、約2ヶ月間の研修成果をまとめて提出した研修レポートをはじめ、NISE創設以来の研修成果報告書を、研修別に整理・保存しています。
特別支援教育関係機関刊行物	文部科学省発行資料や、全国の特別支援教育関係機関が発行した研究・実践成果報告書等の刊行物を網羅的に収集し、整理・保存しています。
辻村文庫	NISE初代所長である故・辻村泰男氏の旧蔵書のうち、ご遺族より寄贈していただいた特別支援教育関係資料約500冊を、「辻村文庫」として別置き、保管しています。

詳しくはこちら→

NISE WEBサイト > 図書室の利用

<https://www.nise.go.jp/nc/library>

情報発信・理解啓発のための活動

NISEでは、研究成果や集積した情報の発信を目的としてセミナーやシンポジウム、研究所公開等を毎年度開催しています。

また、関係する機関や学校等と共同でイベントを開催し、障害のある子どもの教育に関する理解啓発に取り組んでいます。

■ 研究所セミナー

NISEが蓄積してきた研究や情報収集をベースにした特別支援教育に関する情報提供とNISEの活動の紹介をしています。

期 日：令和2年2月21日(金)～2月22日(土)

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)



研究所セミナー

■ NISE特別支援教育国際シンポジウム

NISEでは、海外における特別支援教育に関する動向等を把握し、その結果を発信すること、諸外国の研究機関や教育機関、大学から研究者等を招聘して、特別支援教育に関する施策や実際の取組について広く情報提供することを目的として国際シンポジウムを毎年度開催しています。

期 日：令和2年1月25日(土)

会 場：一橋大学一橋講堂(東京都千代田区)

内 容：フィンランドの教育実践の具体から今後のインクルーシブ教育システム推進を展望する



NISE特別支援教育国際シンポジウム

■ 世界自閉症啓発デー関連事業

世界自閉症啓発デーシンポジウム本部大会を共催するとともに、横須賀市において教育委員会や筑波大学附属久里浜特別支援学校、保護者団体等と連携し、発達障害の理解啓発イベントを実施しています。

期 日：令和元年11月29日(金)

会 場：横須賀市内



横須賀市児童生徒ふれあいフェスタ

詳しくはこちら→

世界自閉症啓発デー特設サイト

<https://www.nise.go.jp/waad/>

■ 研究所公開

NISEにある情報普及のための施設を見学できます。

体験型の展示を通し研究成果等を紹介しています。

期 日：令和元年11月16日(土)

会 場：NISE



研究所公開

詳しくはこちら→

NISE WEBサイト > 研究所公開

https://www.nise.go.jp/nc/laboratory_release